

開講学科	建築学専攻	実務家科目				前橋工科大学 シラバス																														
		—																																		
科目名	建築意匠特論 A	標準対象年次	選択/必修	科目コード																																
		1, 2 年次	選択	33000301																																
担当教員	駒田 剛司	単位数	学期	曜日	時限																															
		2 単位	前期	曜日	3 時限																															
授業の教育目的・目標	建築のデザインについて、学術的研究を行うことは言うまでもないが、デザインされた建築を実際に建設することにより研究内容を社会に対し還元できると考える。本講義では、理論と現実の建設に関わる諸問題を扱うことにより、実学としての建築デザインに対する理解を深めることを目的とする。																																			
学科の学修・教育目標との関係	常に変化し続ける社会状況、先端技術、新たな感性を敏感に読み取り、多くの分野の知識を統合することにより建築の意匠設計を行うことが可能となる。新たな時代を切り開くことのできる、構想力に富む人材の養成を教育目標とする。																																			
キーワード	近代建築、現代建築、テクトニック、構法、デティール																																			
授業の概要	建築物は構造材から仕上げ材に至るまで、物理的素材を用い建設される。そこで本講では19世紀末から現代までの主要な建築家の作品を中心に、美学的な判断を含んだそれらの構築的手法、テクトニックについて学び、具体的な設計スキルとその背景にある文化的な文脈の習得を目指す。																																			
授業の計画	<table border="1"> <tr><td>第1回:</td><td>ガイダンス、テクトニックとは</td></tr> <tr><td>第2回:</td><td>構造的なるものについての考察</td></tr> <tr><td>第3回:</td><td>グレコ・ゴシックとネオ・ゴシック</td></tr> <tr><td>第4回:</td><td>構構の登場</td></tr> <tr><td>第5回:</td><td>フランク・ロイド・ライト</td></tr> <tr><td>第6回:</td><td>オーギュスト・ペレ</td></tr> <tr><td>第7回:</td><td>ミース・ファン・デル・ローエ ドイツ時代</td></tr> <tr><td>第8回:</td><td>ミース・ファン・デル・ローエ アメリカ時代</td></tr> <tr><td>第9回:</td><td>ルイ・カーン リチャーズ医学研究棟以前</td></tr> <tr><td>第10回:</td><td>ルイ・カーン リチャーズ医学研究棟以後</td></tr> <tr><td>第11回:</td><td>ヨーン・ウツソン ベイビューの自宅以前</td></tr> <tr><td>第12回:</td><td>ヨーン・ウツソン ベイビューの自宅以後</td></tr> <tr><td>第13回:</td><td>カルロ・スカルパ</td></tr> <tr><td>第14回:</td><td>構構の軌跡</td></tr> <tr><td>第15回:</td><td>エピローグ</td></tr> </table>						第1回:	ガイダンス、テクトニックとは	第2回:	構造的なるものについての考察	第3回:	グレコ・ゴシックとネオ・ゴシック	第4回:	構構の登場	第5回:	フランク・ロイド・ライト	第6回:	オーギュスト・ペレ	第7回:	ミース・ファン・デル・ローエ ドイツ時代	第8回:	ミース・ファン・デル・ローエ アメリカ時代	第9回:	ルイ・カーン リチャーズ医学研究棟以前	第10回:	ルイ・カーン リチャーズ医学研究棟以後	第11回:	ヨーン・ウツソン ベイビューの自宅以前	第12回:	ヨーン・ウツソン ベイビューの自宅以後	第13回:	カルロ・スカルパ	第14回:	構構の軌跡	第15回:	エピローグ
第1回:	ガイダンス、テクトニックとは																																			
第2回:	構造的なるものについての考察																																			
第3回:	グレコ・ゴシックとネオ・ゴシック																																			
第4回:	構構の登場																																			
第5回:	フランク・ロイド・ライト																																			
第6回:	オーギュスト・ペレ																																			
第7回:	ミース・ファン・デル・ローエ ドイツ時代																																			
第8回:	ミース・ファン・デル・ローエ アメリカ時代																																			
第9回:	ルイ・カーン リチャーズ医学研究棟以前																																			
第10回:	ルイ・カーン リチャーズ医学研究棟以後																																			
第11回:	ヨーン・ウツソン ベイビューの自宅以前																																			
第12回:	ヨーン・ウツソン ベイビューの自宅以後																																			
第13回:	カルロ・スカルパ																																			
第14回:	構構の軌跡																																			
第15回:	エピローグ																																			
受講条件・関連科目	学部で卒業設計を行っていること。 建築計画、近代建築史、構造計画を理解していること。																																			
授業方法	ケネス・フランプトン「テクトニック・カルチャー」の輪読を行う。パワーポイント等視覚的に捉えやすい手法を用いる。																																			
テキスト・参考書	ケネス・フランプトン「テクトニック・カルチャー」																																			
成績評価	・試験 ( ) ・レポート (80%) ・その他 (意見交換、建築討論) (20%) 注意事項 ( )																																			
履修上の注意	「建築設計演習 A」と関連内容であるので、演習を受講すること。																																			